

山形市立病院済生館で実施している薬剤師のスキルアップの取り組み

1. 新人教育

新採薬剤師は約半年間中央業務に就いてもらい薬局の基本的な約束事、調剤内規、注射薬の払出しの流れ、化学療法剤のミキシング等を学んでもらう。

入職後 8~9 ヶ月目に病棟業務に就いてもらい、約 3 ヶ月の間隔で各病棟を 2 年間でローテート（研修医と同様の考え）し、臨床経験を積んでもらう。各病棟終了時は経験した症例を含めたレポートを書いてもらい、役職者、病棟責任薬剤師が評価アドバイスする。

※新人の頃の経験は非常に貴重なもので、この時期に学んだことは後の業務にかなりの影響を与える。新人をしっかり教育し、育成することは堅固な組織を造るうえで重要である。

2. 専門・認定薬剤師の養成

臨床の現場で医師と薬物治療についてディスカッションするには専門的な知識が必要である。当院では認定・専門薬剤師（別項目参照）の養成に積極的に取り組んでいる。資格取得者は自己満足にとどまらず、薬局全体の薬剤師のボトムアップに努め、常にアウトカム評価を実施し、病院の医療の質向上に貢献できる業務を実施することを目標としている。定期的に専門・認定薬剤師による勉強会を実施している。

3. 症例検討会の実施

各病棟で経験した症例を持ち寄り、成功例、失敗例を薬剤師同士でディスカッションしスキルアップにつなげていく。

4. 学会・論文による情報発信

業務の実績を検証するために積極的に研究に取り組み全国の学会で発表している。また学会で発表した内容を論文化している。

5. 各係・個人の目標設定とアウトカム評価

漫然と業務を実施していると何も残るものがない。各年ごとに各係・個人の目標を設定し、アウトカム評価を実施している。

薬局の考え

薬剤師個々の能力を尊重し、薬剤師同士が密にコミュニケーションを取ることによってスキルアップを図り、どんな場面でも柔軟に対応できる堅固な組織を目指す